

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	紹介議員氏名	付託 委員会名	議決結果
28年 第2号	28.9.5	<p>臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願</p> <p>【請願趣旨】</p> <p>安倍政権は、臨時国会でTPP協定を批准させようとしているが、参議院選挙でTPPが重大争点となった東北地方の一人区において野党統一候補が勝利したことに見られるように、TPP反対の国民の意思は明らかである。</p> <p>先の通常国会では、交渉過程を示した資料はタイトルと日付以外はすべて黒塗りで、国民への説明も情報公開も十分ではなかった。</p> <p>その不十分な情報の下での審議ですら、①TPP協定には関税の撤廃・削減をしない「除外」規定が一切存在しないこと、②付属書で、日本だけが農産物輸出大国5カ国との間でさらなる関税撤廃に向けた見直し協議を特別に義務付けられていること、③一切手を付けさせなかったという155の細目も、品目で見れば「無傷」のものはただの一つもないという事実を、石原TPP担当相と森山農相は、認めざるをえなかった。</p> <p>ISD条項についても、いくつかの規定が入れているが、外国企業の利益が国内法より優先されることに変わりなく、国の主権を損なうものである。</p> <p>これらの内容が「農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとする」となるとした国会決議に違反していることは明らかである。</p> <p>また、TPP12カ国で国内手続きが完了している国はひとつもない。特にTPP協定の発効にはアメリカの批准が必須であるが、アメリカの動向は、両大統領候補がTPP反対を表明するなど、ますます混迷を深めており、TPPの発効自体危ぶまれている。このような中で日本が先んじて批准すべきではな</p>	<p>農民運動茨城県連合会 (茨城農民連) 会長 岡野 忠</p>	<p>山中 たい子 江尻 加那 上野 高志</p>	<p>総務企画</p>	<p>不採択</p>

		<p>い。</p> <p>以上の趣旨から,下記の事項についての意見書を国会に提出することを請願する。</p> <p>【請願項目】</p> <p>1 臨時国会で TPP 協定の批准は行わないこと。</p>				
--	--	--	--	--	--	--